



〔キュレーターによる解説〕

1
会田友朗＋久野紀光

Tomoro Aida + Toshimitsu Kuno
東京の住宅地に立つ3人家族のための住宅である。周囲から引きこもらない、行き止まりを作らない、平面でなく立体としてとらえる、という3つの外部空間のルールを設定し、内部と外部が近似した気積で、かつ交互に現れるように5つの直方体のボリュームが隙間を持って配置されている。

2
井手健一郎 | Kenichiro Ide
福岡郊外に計画された木造2階建ての住宅である。幅3m、長さ30mの引込み道路の先に三角形の敷地が接続されている。室内にたくさんの居場所が用意された住宅が周辺環境に対して等しく向かい合っている。

3
木村松本 | kimuramatsumoto
大阪の都市部に建つ、アトリエ、ギャラリ―が併設された住宅の計画である。大きな直方体の気積、特徴的な外装によってマンションが立ち並ぶ街のなかで特異点をなしている。

4
KUU
上海郊外に立つ住宅である。上海の都心部に残る、小さな部屋や庭が連続し、キッチンや水まわりをシェアする形式の古い住宅の形式をもとに提案されている。通常のnLDKからK(キッチン)がマイナスされていることから「マイナスKハウス」というタイトルが付けられている。

5
久野浩志 | Hiroshi Kuno
札幌郊外に立つ住宅である。ダイニングキッチンやリビングルームの収められた四角い平屋のボリュームが雁行して並び、寝室の収められた3階建てのタワー状の細長いボリュームがそれに接続している。平屋が少し沈められていることで屋上が周辺の空地と連続し、住宅地の外部空間に連続性をもたらす。

6
金野千恵 | Chie Konno
東京郊外に立つ戸建住宅である。約45坪の敷地を二分し、南の庭と北の室内をロジャと呼ぶ屋根付き外部空間で繋いでいる。ロジャの庭側には高さ3.5m幅7mほどのガラスのない大窓があり、内部側には全室が窓とともに一同に会する。

7
島田陽 | Yo Shimada
神戸の都市部の住宅地に立つ男性ひとりのための住宅である。眺望に恵まれたつつも、周囲からの視線が届かない1階を全周ガラスとし、家型の細長いボリュームが載せられている。四周に張り出したテラスは1階の底としても機能する。人力による搬入施工を考え100角H鋼の鉄骨造、各部材は100kg前後としている。

8
SPACESPACE
大阪郊外の住宅地に立つ住宅である。前面道路と繋がった広間のある1階と、そこから距離をとり、下階に太陽光を届けるため周囲の屋根より高くまで持ち上げられた2階からなる。広間に設けられた「丘」は、冬季に南側上部の窓から取り込んだ太陽熱を蓄熱する他、ソファ、縁側、玄関からの目隠しとして機能する。

9
TERMINAL 01
都市部に計画されたアトリエの併設された住宅である。地下にアトリエ、1階にプライベートな空間、2階に皆の集まれる空間が配置されている。敷地の眺望、駐車場の屋根、天井の高さなどに合わせて外形を調整し、階段を屋外空間に見立てて、住宅の中を上下移動するたびに外に出るように配置している。

10
dot architects
都市郊外の住宅地に計画された改装案。家と家の2階をブリッジで繋ぎ、購入した家の2階は共用の庭としている。家と家を紡ぎ、育児や介護などの依存を交換するための小さな関係をつくりだす試みである。

11
藤村龍至 | Ryuji Fujimura
都市郊外の新興住宅地に計画された住宅である。角地にあり、左右に隣接する住宅と後退距離を揃え、同じ色に塗装される。水まわりのボリュームを敷地の境界線いっぱいにはばさすことで庭が周囲の家よりも南北方向に長くなり、独立性の強い外部空間となった。玄関のある西側はシンメトリーで正面性を強調する。

12
メジロスタジオ | Mejiro Studio
都市郊外に立つ戸建て住宅である。建築主が自作したやや慣習的な間取り案を元に周辺環境への緻密な対応を行い、屏風のような立面を4周に回した独特の形態にたどり着いた。4つの角に設けられた袖壁は構造壁でもあるが、立面に反復によるリズムを作り出し、郊外住宅地の茫漠とした風景に表情を与えている。

13
屋根裏設計 | Yaneura Design
大阪郊外の旗竿状の敷地に立つ住宅である。直方体のボリュームに挿入された数枚の床の一部は傾けられ、人工芝が敷かれているが、外部にはあえて強く表されていない。動線の一部は家具の一部と重ねられ、最上階に設置された屋上テラスにはもうひとつの風呂が設置されている。

14
米澤隆 | Takashi Yonezawa
岐阜県に計画された住宅である。大きな屋根を持つ軸組のボリュームに白いミニマルなチューブで構成されたボリュームが貫入する。2つの性質の異なる空間によってひとつの建築が構成される。1階は4周に開放され、軒下に半外部的な空間が連続する。

15
403architecture [dajiba]
浜松市の湖近くの住宅街にある築40年を改修する計画である。南側の客間とダイニングキッチンを改造し、隣接する庭とテラスを含む中心にキッチンを埋め込んだモルタル仕上げの天板を配置した。解体によって露出した屋根裏から庭とテラスへは、農園芸資材である遮光防風ネットを掛け、光を拡散させる。